

令和 3 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(森林水産課)

施設名称	宮崎市自然休養村センター		
指定管理者名	木花・青島活性化プロジェクトJV		
指定期間	2018.4.1	～	2023.3.31
	選定方法	公募	

2 モニタリング項目

① 実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44 / 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44 / 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対するの説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20 / 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	64 / 67	95.5%

② 事業収支

収支【円】 (収入-支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
13,902,277	計画値	43.3%	4.2%	98,015,000	97,779,000	11,000,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	62.0%	2.7%	73,249,212	59,346,935	7,204,071
18.98%	増減	18.7%	-1.5%	-24,765,788	-38,432,065	-3,795,929

③ 事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	市民の憩いの場や地域コミュニティの形成などに対しても効果が出ている。	地域密着の事業を展開しており、地域振興に大きく貢献している。
自主事業	地域コミュニティの形成や意欲の醸成など、効果が出ている。	シルバー人材の育成や、地域の保育園との交流、宮崎大学の連携による指定管理制度等の学習の場の提供など、着実に効果が出てきている。

④利用状況

年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	
利用者数	51,504人	49,824人	89,197人	94,187人	103,479人	
対前年比率	103.4%	55.9%	94.7%	91.0%	97.9%	
指定期間	●	●	●	●	●	
年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	
利用者数	105,703人	107,594人	129,989人	132,839人	121,547人	
対前年比率	98.2%	82.8%	97.9%	109.3%		
指定期間	●	●	●	●	●	
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①新型コロナウイルス発生による利用者の減少		利用者1人あたり からの収入(客単価)	利用者1人あたりの 管理運営経費		
			使用料	0	昨年度 実績値	1152
	②新型コロナウイルス感染症による利用者の減少、 利用者対象年代等の変化による減少		利用料金	323.6	実績値	1152
			自主事業	272.6	増減	0

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的 評価	<ul style="list-style-type: none"> 健康と長寿そして認知症予防の施設として大変有効な施設として貢献していると思う。 座敷もあり子供連れでも利用しやすい。 週に3~4回は入浴している。入浴料も安く利用しやすい。なくてはならない施設である。
	苦情	<ul style="list-style-type: none"> 館内のクロス、床、絨毯など、施設の老朽化が目立つ。 売店やレストランが、同じフロアにあり、レストランが分かりにくい。 施設の規模に対し利用者が多い。室内環境づくりも必要でないか。
改善の姿勢	<ul style="list-style-type: none"> 地域との連携を図るため、積極的にイベントを開催したり、地元農産物等の販売を行っている。 施設が、故障した場合は施設所管課へ速やかに報告が上がっており、随時修繕を行っている。 また、軽微な修繕等については、迅速に対応しており、大規模な改修についても、施設所管課と継続して協議を行っている。 	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の 状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	健全な事業収支が保たれていたか。	△
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		収入実績は計画(見込み)どおり確保できていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		収支計画の変更協議も無く、計画と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○	利用者1人あたりの収入額は適正であったか。		△	

②所見

◆総合評価について

(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

- ①管理運営の状況としては、概ね適正である。
- ②協定事項としては、概ね適正である。
- ③事業収支については、健全な事業収支にむけて今後とも改善に努める必要がある。
- ④利用状況については、尚一層、市民の方の利用増進に努める必要がある。

1 基本情報

施設所管課

(森林水産課)

施設名称	宮崎市椿山森林公園		
指定管理者名	宮崎中央森林組合		
指定期間	2019.4.1	～	2024.3.31
	選定方法	公募	

2 モニタリング項目

① 実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44 / 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	30 / 36	83.3%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対するの説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	12 / 25	48.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	58 / 67	86.6%

② 事業収支

収支【円】 (収入-支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
798,633	計画値	6.8%	0.0%	14,423,889	14,423,889	995,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	4.9%	0.0%	14,485,639	13,687,006	853,674
5.51%	増減	-1.9%	0.0%	61,750	-736,883	-141,326

③ 事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおり実施され、適切な維持管理が行われている。	・市民の憩いの場として提供した。
自主事業	・園内に植栽されている椿の有効利用がなされた。	・椿ふれあいまつりに使用される。

④利用状況

年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	
利用者数	14,336人	15,484人	12,682人	12,842人	12,407人	
対前年比率	92.6%	122.1%	98.8%	103.5%	99.9%	
指定期間	●	●	●	●	●	
年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	
利用者数	12,422人	15,926人	14,759人	15,909人	19,811人	
対前年比率	78.0%	107.9%	92.8%	80.3%		
指定期間	●	●	●	●	●	
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①令和2年度は、椿ふれあいまつりが中止となったにもかかわらずコロナの影響で利用者が増加したため、令和3年度は若干の利用者減となった。 ②コロナの影響で椿ふれあいまつりが実施できないため、利用者数が減少している。		利用者1人あたりの収入(客単価)		利用者1人あたりの管理運営経費	
			使用料	0	昨年度実績値	955
			利用料金	0	実績値	955
			自主事業	0	増減	0

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	・携帯電話の電波が通じず、自然に囲まれた環境は現代の子供たちにとって貴重である。 ・自然環境と豊富な種類の椿が観賞できる他に例を見ない場所である。
	苦情	・携帯電話が通じない。 ・距離が遠い。
改善の姿勢	・フェイスブックにアジサイの開花情報等を掲載し集客を図った。 ・椿の樹名板設置や園内施設の整備を行った。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおりの事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	△		報告・提出書類の期日は守られていたか。	△
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか	○	事業収支	健全な事業収支が保たれていたか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		収入実績は計画(見込み)どおり確保できていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		収支計画の変更協議も無く、計画と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○	利用者1人あたりの収入額は適正であったか。		○	

②所見

◆総合評価について

(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

- ①適切な運営が行われている。
- ②協定に基づいた管理が行われている。
- ③収支の差がマイナスとなっておらず、適正に実施されている。
- ④コロナの影響で自然の需要が高まっており、椿ふれあいまつりが実施されていないにも関わらず多くの利用者がみられている。